

配置図・平面図案

段状庭園をつくることで
視線の抜けに広がりをつくる

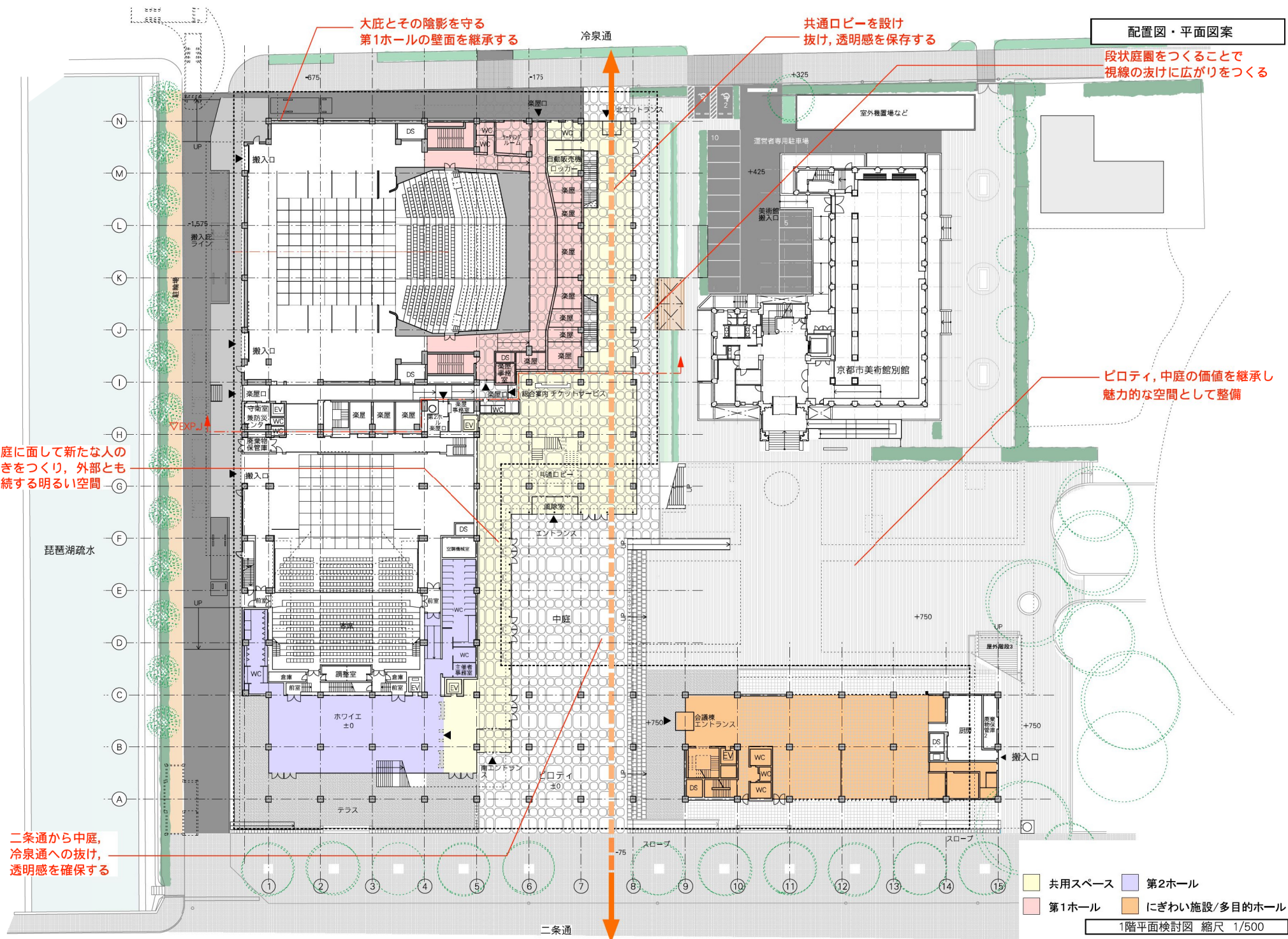
共通ロビーを設け
抜け、透明感を保存する

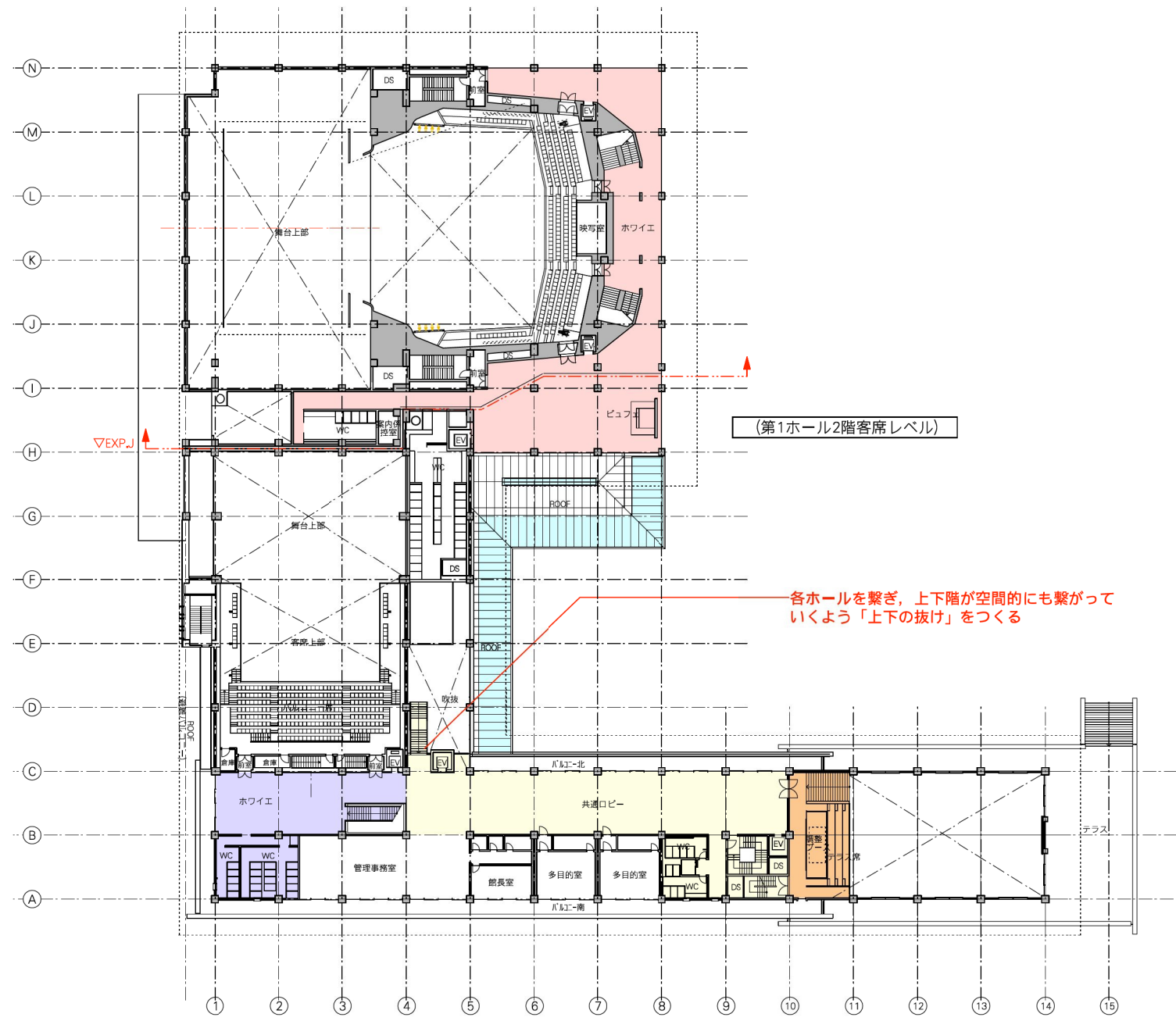
大庇とその陰影を守る
第1ホールの壁面を継承する

ピロティ、中庭の価値を継承し
魅力的な空間として整備

中庭に面して新たな人の
動きをつくり、外部とも
連続する明るい空間

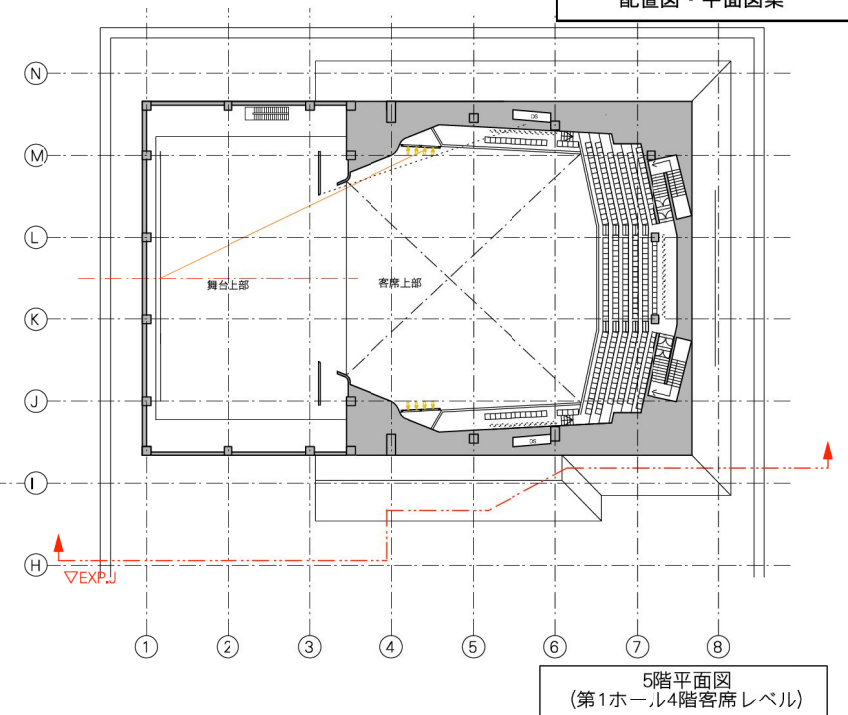
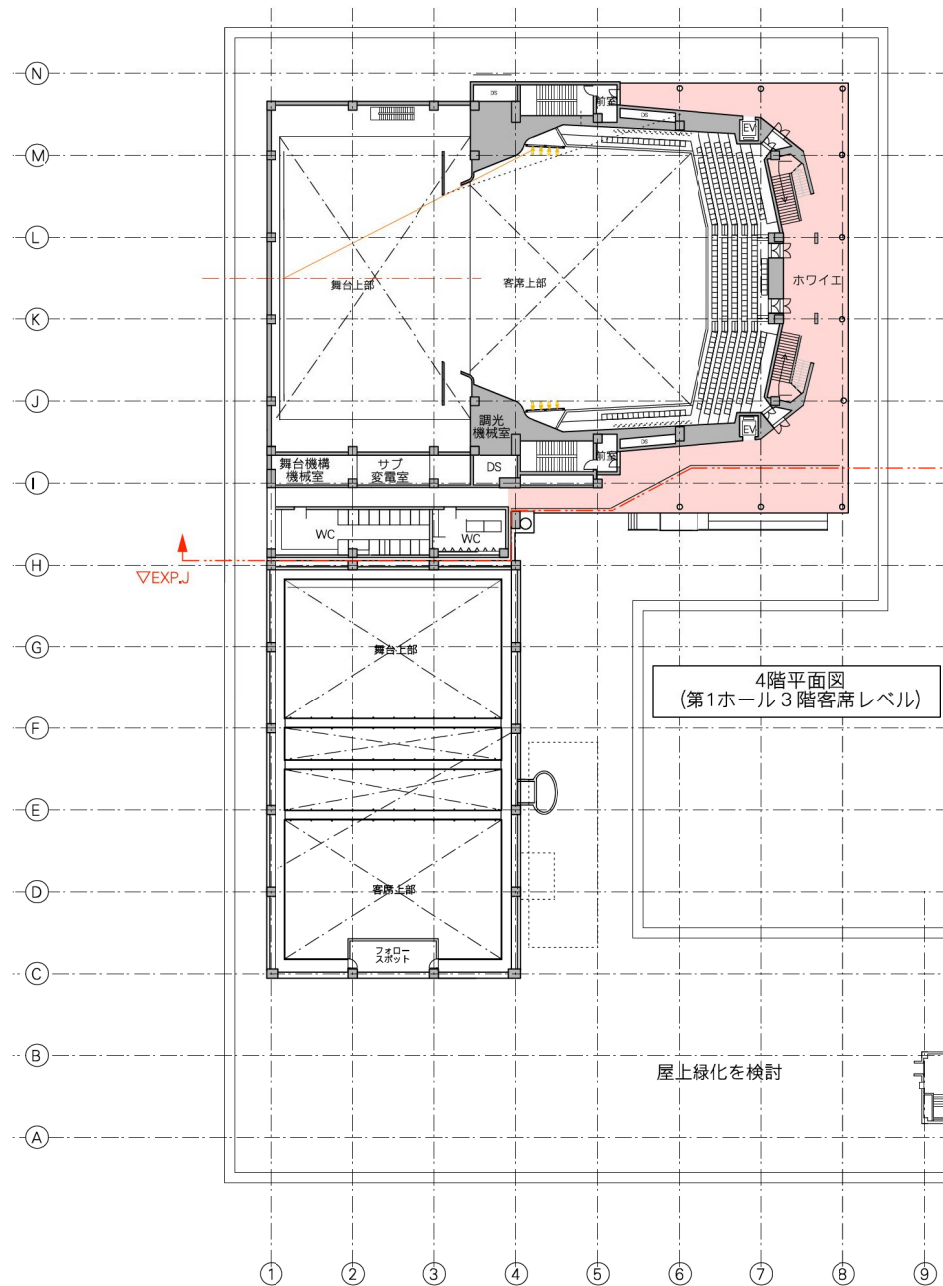
二条通から中庭、
冷泉通への抜け、
透明感を確保する





- 共用スペース
- 第2ホール
- 第1ホール
- にぎわい施設/多目的ホール

配置図・平面図案



屋上緑化を検討

